

日仏学生フォーラム
2014年度報告書

2014 年度 代表あいさつ

Mots des Présidents

◆ 13 期日本側代表 ◆

Keiichiro Sasaki

佐々木 圭一郎

日仏学生フォーラム (FFJE) は、公益財団法人日仏会館の主催する学生交流事業です。学生の交流を通じて、日本とフランスの相互理解を深め、日仏の架け橋となる人材を育成することを目的としております。

事業開始 14 年目をむかえた 2014 年は、日仏文化協力 90 周年と重なり、これを念頭に置いた「文化から展望するこれからの社会・日仏関係」というテーマの下、フランス側メンバー 20 名を日本に受け入れる交流プログラムを開催いたしました。両国学生のディスカッションをメインの活動とし、加えて、東京・京都でフィールドワークを行いました。また、年間を通じた活動として、勉強会や講演会を実施いたしました。

文化芸術を通じて、日本そして日本人の価値観や精神性を見出すことは、フランス側メンバーはもちろん日本側メンバーをも更なる日本の理解に誘い、事業全体を通じて得た素晴らしい経験・交流を通じて培われた繋がりとともに、将来の「日仏の架け橋」をさらに強固なものにしていくことと期待しております。

多くのご助言をくださった主催者・日仏会館の皆さま、後援してくださっている外務省、フランス大使館、助成してくださった国際交流基金、三菱 UFJ 国際財団、また、来日プログラムにご協力くださった省庁、研究所、企業やホストファミリーの方々をはじめ、事業に携わってくださった皆さまに、日本側メンバーの代表として深く感謝申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ 13 期フランス側代表 ◆

Nicolas L.

Le Forum Franco Japonais des Étudiants (FFJE) permet tous les ans à 40 étudiants de découvrir et de partager la culture de leurs camarades qui vivent à l'autre bout du globe. En effet le FFJE ouvre des portes dont on ignorait souvent l'existence : je pense cette année à la chance que nous avons eue de pouvoir échanger avec les représentants de grandes entreprises telles JR ou Horiba. Mais la découverte culturelle va plus loin puisque chacun découvre de plus près sa propre culture. Cette année c'est un maître dans la confection de kimonos et une pâtisserie japonaise qui nous ont ouvert leurs portes et permis de nous immiscer dans la culture traditionnelle du Japon. Enfin, être logé dans une famille d'accueil est la meilleure façon de découvrir la vie quotidienne du pays d'accueil.

Le FFJE dépasse le simple tourisme ou la rencontre, puisqu'il se construit surtout autour de discussions que nous cherchons année après année à rendre plus constructives. Je pense que nous pouvons être fiers du travail accompli cette année. Forts d'une histoire de plus de 10 ans et soutenus par de nombreux partenaires, nous nous lançons désormais dans des projets plus concrets et à plus long terme. Même s'il ne s'agit d'abord que d'actions à l'échelle étudiante, elles dépassent le seul FFJE.

Rendre nos discussions plus concrètes nous motive encore plus tandis que les projets à long terme soudent chaque génération à celles qui la précèdent et la suivent. Au FFJE on se fait des amis, des amis pour la vie.

◆ 14 期日本側代表 ◆

Kurumi Hirabayashi

平林くるみ

日仏学生フォーラム (FFJE) は、公益財団法人日仏会館の主催する学生交流事業として、フランス側メンバーを交えたディスカッション、交流プログラムをはじめ、通年で日仏文化および社会問題に焦点を当ててディスカッションを重ねる勉強会や、日仏をフィールドにご活躍されている方をお招きする講演会を開催しております。

例年夏季に行う交流プログラムは、2015 年度から就職活動の時期が変更されることに伴い、2014 年 8 月に実施した来日プログラムに続き、2015 年 2-3 月にも例外的に渡仏プログラムを実施する運びとなりました。他年にくらべ準備期間が大幅に短縮されてしまいましたが、一回一回の定例会議と勉強会を充実させ、またフランス側メンバーと Skype やメールでの連絡を密にとることで、各メンバーが確かな成果を実感できる渡仏プログラムにしたいと思っています。

2015 年 1 月より「Génération Y」をテーマに活動していきます。急速に発展する通信技術の恩恵を受け、現在、国家の枠を超えて人々が直接つながることができるようになりました。同時に、環境問題など、一国家では捉えきれない課題が私たちを取り巻いています。私たちが FFJE という一つのフォーラムで日本・フランスの学生が率直な意見を交換しあい、新しい視点から日仏両国の問題を捉えなおし発信することは、今でこそできることであり、また意義のあるものです。FFJE の日本側メンバーの一員として、同じ「Génération Y」であるフランス側メンバーとともにこれから活動を続けていきます。

最後に、いつもお世話になっている会館の先生方、職員の皆様、私達の活動をいつも暖かく見守ってくださる OBOG の皆様、ならびに、すべての関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

目次

2014 年度 代表あいさつ

第 1 部 活動概要

2014 年度年間活動参加メンバー
日仏学生フォーラムとは？
これまでの歩み
定例会議・年間活動概要・会計報告

第 2 部 メンバーの声

日本側メンバーの声
フランス側メンバーの声

第 3 部 勉強会・講演会報告

勉強会報告
講演会報告

第 4 部 交流プログラム報告

来日プログラム
ディスカッション報告
ディスカッション レジюме
来日プログラム報告
プログラム日記
ホストファミリーの思い出
渡仏プログラム

第 5 部 その他の活動

東京大学五月祭出店
交流会（HEC の学生との交流会）
OBOG 総会

第 6 部 資料

日仏学生フォーラム規約
主催者メッセージ・編集後記
ご協力いただいた方々

第 1 部

活動概要

ACTIVITÉS DU FFJE

日仏学生フォーラムとは？

Forum Franco-Japonais des Étudiants -----FFJE, qu'est-ce que c'est?

日仏学生フォーラムの概要

日仏学生フォーラムの目的・位置

日仏学生フォーラム（Forum Franco-Japonais des Étudiants / FFJE）は、次世代の日本・フランス両国の架け橋となる学生たちの交流を目的として、2001年に設立されました。FFJEは、公益財団法人日仏会館が主催する事業として位置づけられます。

メンバー構成

FFJEは、日仏両国の学生（日本側は日仏会館の学生会員）によって構成されます。学生数は、両国ともに約20名、合計約40名です。任期は2年3ヶ月で、日本側メンバーのリクルートは毎年秋から冬にかけて行われています。

※15期メンバーの任期は2014年11月から2017年3月までの2年5ヶ月。（但し、任期中に一時休会期間有り。）

近年のメンバーの在籍校は、以下の通りです：

（日本側）

青山学院大学、学習院大学、共立女子大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、上智大学、中央大学、東海大学、東京外国語大学、東京藝術大学、東京大学、獨協大学、日本大学、一橋大学、明治大学、早稲田大学

（フランス側）

École Normale Supérieure（ENS: 高等師範学校）、École Polytechnique（理工科学校）、Institut d'Études Politiques de Paris（Sciences Po: パリ政治学院）、Institut national des langues et civilisations orientales（INALCO: 国立東洋言語文化学院）、École des hautes études commerciales de Paris（HEC Paris: 経営大学院）

これまでの歩み

Histoire de notre association

これまでの活動

1. 略歴

日仏学生フォーラム（FFJE）は、正式には2001年度をその第1期と数えます。しかし、その礎は、日仏協会が創立90周年を記念し、7名のフランス人学生を一般研修のため日本に招いた1999年までさかのぼります。その後2000年に、学生の交流を通して日仏両国の相互理解をさらに深めようと、日仏会館とHEC（経営大学院）日本事務局が日仏学生交流事業として当フォーラムを構想しました。

現在FFJEは、同事業を引き継いだ日仏会館によって主催されています。

2. 交流プログラム

例年、夏期休業中の約二週間、隔年で渡仏・来日プログラムを開催しています。主催国側が、ディスカッション、企業訪問、施設見学、小旅行などを盛り込んだプログラムを企画・運営し、二週間を通してメンバー間の交流を深めます。プログラムの最後には、ディスカッションの成果を発表するシンポジウムを開催します。2014年度は就職活動の時期の変更に伴い、例外的に2014年8月に来日プログラム、2015年3月に渡仏プログラムを行うこととなりました。

2.1 過去の来日プログラム（2001、2003、2005、2007、2009、2012、2014年）

◇省庁・企業訪問

外務省、厚生労働省、東日本旅客鉄道(株)、全日本空輸(株)、(株)堀場製作所、(株)ダイヤモンド・ビッグ社、(株)バンダイ、(株)電通、トヨタ自動車(株)、ソニー(株)、朝日新聞社など、省庁・企業訪問を行いました。

◇施設・研究所見学

国会議事堂、参議院議員会館、最高裁判所、都庁、京都大学iPS細胞研究所など、政治や科学技術、生活、文化などの幅広い分野に関係する施設を見学してきました。また、歌舞伎座での歌舞伎鑑賞（2007、2009年）、茶道・香道体験、江戸染小紋体験（2014年）など、日本の伝統文化に触れられる企画も行っています。

◇宿泊

フランス側メンバーの日本での滞在は、ホストファミリーのご協力によって行われています。

2.2 過去の渡仏プログラム（2002、2004、2006、2008、2010、2011年、2013年）

◇企業訪問

ルイ・ヴィトン工場、ルノー自動車工場、カカオ・エ・ショコラチョコレート工場、チーズ工場、蒸留酒工場見学、フォシエ・ビスキュイなど、フランスを代表する企業を見学させていただきました。

◇施設見学

上院、ガルニエ・オペラ座、ホテルマン養成学校、ルーヴル美術館、プチ・パレ、ヴェルサイユ宮殿、エコールポリテクニクのラボ、経済協力開発機構（OECD）、ユネスコなど、政治の中核からフランス文化を代表するような諸施設、知の生産現場などを見学させていただきました。また、地方都市訪問では、モン・サン・ミッシェルやドーヴィル、ロアール地方、ランスなどを訪問してきました。

3. 日仏合同ディスカッション

2002年度のプログラムより、ディスカッションを開催しています。毎年日本側、フランス側双方のメンバーで話し合って決めるテーマは、一年間の活動の核となるものです。テーマに基づき、双方のメンバーは複数のサブテーマ班に分かれ、プログラム前はインターネットを介して、プログラム中は直接議論や調査を行います。その成果は、主催国における一般公開のシンポジウムにて発表します。また、渡仏プログラムの際は、成果発表の場として日本でも帰国報告会を開催しています。

4. 勉強会

大学、専攻、学年の異なるメンバーが、それぞれの専門分野についての紹介、またフランスに関連するトピックについて知識を深めるための勉強会を開催しています。語学面においては、2014年度から導入した「タンデム学習」によって、日本側メンバーとフランス側メンバーがコンビを組んで相互学習活動をする事で、双方のフランス語力・日本語力を高め合っています。

5. 講演会

年に数回開催している講演会では、実際に日本とフランスの両国で活躍されている方々を講師としてお招きしています。学生だけでは得ることのできないような知見や経験に触れられる、大変貴重な機会となっています。

6. OBOG 会

2001年より続く日仏学生フォーラムには、OBOGと交流する機会として、年数回のOBOG会が開催されています。OBOG会を通して、これまでの日仏学生フォーラムでの活動経験を活かしたアドバイスを頂いたり、また現在の社会経験についてもお話をお伺いすることが出来ます。

7. 定例会議

定例会議は、FFJEの多岐にわたる活動の準備のために、各担当者が議題を提出し、情報共有、意見交換及び議論を行う場となっています。週末の午後、月に2～3回の頻度で行われています。

8. 渉外活動、広報活動

日仏の学生交流事業を、よりパブリックに発信していくために、2006年度より本格的に開始しました。渉外・広報活動としては、学生会議連絡協議会や学生交流フェアへの参加、年間活動報告書の作成・配布・ホームページ掲載、OBOGネットワークの整備などが挙げられます。現在、普段の活動内容やイベントのお知らせは、ホームページ、ブログ、ツイッターおよびフェイスブックでご覧いただけます。

過去のテーマ

1999年

HEC 経営大学院学生日本語研修支援事業により、7名の学生が来日。現在のFFJEの前身となる

2000年

日仏会館とHEC 経営大学院日本事務所が日仏学生交流事業としてFFJEを構想

2001年

1期生。フランスより11名の学生を招待。日本メンバーはボランティアとして流動的に参加

2002年

1期生・2期生。17名の学生が渡仏。日仏合同のディスカッションテーマは「Exceptions Culturelles」

2003年

2期生・3期生。22名の学生が来日。テーマ「次世代のダイナミズム」

2004年

3期生・4期生。20名の学生が渡仏。テーマ「Vision de la ville」

2005年

4期生・5期生。22名の学生が来日。テーマ「食」

2006年

5期生・6期生。22名の学生が渡仏。テーマ「Luxe」

2007年

6期生・7期生。8名の学生が来日。テーマ「日仏の現代社会」

2008年

7期生・8期生。16名の学生が渡仏。テーマ「La mode」

2009年

8期生・9期生。18名の学生が来日。テーマ「技」

2010年

9期生・10期生。19名の学生が渡仏。テーマ「Les relations interpersonnelles」

2011年

10期生・11期生。15名の学生が渡仏。テーマ「Les frontières culturelles」

2012年

11期生・12期生。17名の学生が来日。テーマ「社会と政策、そして未来」

2013年

12期生・13期生。18名の学生が渡仏。テーマ「東京とパリ：二大都市の直面する課題への提案」

2014年

13期生・14期生。20名の学生が来日。テーマ「文化から展望するこれからの社会・日仏関係」

2015年

14期生・14bis期生。9名の学生が渡仏。テーマ「Génération Y」

定例会議・年間活動概要・会計報告

Rapport des réunions, du plan des activités et des comptes

2014 年度 定例会議

月約二回、週末の午後に恵比寿の日仏会館にて、現役メンバーが一堂に会して行う定例会議は、年間の主要活動である交流プログラムや、ディスカッション、講演会等の準備を行う上で、欠かせないものである。会議では、各担当者が議題を持ち込み、情報共有やメンバー全員での意見交換を行う。

定例会議で最も印象に残っているのは、やはり自身が日仏学生フォーラム (FFJE) の一員となって初めての回である。これから二年三ヶ月の任期を共にする他の 14 期メンバーとの初顔合わせ、13 期メンバーとの面接時以来の対面である。とても緊張したのと同時に、これから FFJE の一員として活動していくのだと気が引き締まる思いがしたのを今でも覚えている。1 月の会議には、任期満了を目前に控えた 12 期メンバーも駆けつけ、私達を歓迎してくれた。

最初の二、三ヶ月は勉強会の一環として、各々が自身の専攻・興味分野について紹介するなど会議は終始和やかに進んだ。皆個性溢れるメンバーでこれからの活動がますます楽しみになった。FFJE の活動にも少しずつ慣れ、今年度の来日プログラムを目前に控えた 6 月・7 月。議題の量は膨大になり、五時間以上におよぶこともあった。会議は和やかに進む時ばかりではなく、各々の、FFJE やその活動に対する思いが強いからこそ、メンバー同士の意見が衝突することも避けられない。時には、会議後も白熱した議論が続き、気づくと真夏にもかかわらず、外が真っ暗になっていることもあった。

定例会議は、FFJE の活動を支えるのになくはならないものであり、自身にとっても、様々な分野で活躍しているメンバーから、程よい刺激をもらえるかけがえのない時間である。自分たち 14 期メンバーがリードしてゆくこととなる来年度も、より一層充実した有意義なものとなるように尽力したい。



2014 年度 年間活動概要・会計報告

年間活動概要

月	行事項目
2013 年 10 月 ～ 12 月	・ 14 期メンバーリクルート
2014 年 1 月	・ 年間計画策定 ・ 14 期メンバーの初参加、活動内容 & 役職説明 ・ プログラム立案開始 ・ 自己紹介勉強会
2 月～3 月	・ プログラムに向けての諸準備 ・ 自己紹介勉強会
4 月～5 月	・ プログラムに向けての諸準備 ・ 新入生歓迎イベントの実施 ・ 東京大学五月祭に出店 ・ 他団体との交流会等の実施 ・ 日仏相互学習 (タンデム学習) 開始 ・ プログラム勉強会
6 月～7 月	・ ディスカッション合宿実施 ・ ディスカッションの中間報告会開催 ・ プログラム勉強会 ・ 前期総会
8 月～9 月	・ 来日プログラム、シンポジウム実施 ・ フランス時事ニュース勉強会
10～11 月	・ 来年度計画予定立案 (主に 14 期) ・ 15 期メンバーリクルート、15 期メンバーの初参加 ・ フランス時事ニュース勉強会、フランス文化勉強会 ・ 講演会勉強会 ・ 講演会開催 (山田文比古先生)
12 月 ～ 2015 年 3 月	・ 日仏会館でのパネル展示 ・ 後期総会 ・ OBOG 総会 ・ 報告書発行 ・ 渡仏プログラム ・ 決算

会計報告

単位：千(円)

収入		支出		
日仏会館事業費	457	○来日プログラム費		5709
学生参加費	4920	渡航費	4200	
国際交流基金助成	500	文化訪問費	157	
三菱 UFJ 国際財団助成	300	小旅行費	1352	
		○年間活動費		468
		会議運営費・講演会	206	
		印刷費	204	
		通信・輸送費	18	
		雑費	40	
計	6177	計		6177

会計報告

単位：千(円)

収入		支出		
日仏会館事業費	392	○渡仏プログラム費		1112
学生参加費	720	渡航費	1112	
計	1112	計		1112